

平成26年度事業計画

<平成26年度の活動の3本柱>

- 1 区市町村教育委員会と連携・協力を図り、「地域教育」を活性化させる取組を支援する。
- 2 地域資源の効果的な連携・導入を促すため、地域教育支援人材を養成する。
- 3 企業CSR活動や大学・NPO等とのネットワークを積極的に進め、教育支援プログラムの効果的な導入を図る。

1 教育支援コーディネーター・フォーラム

平成26年12月14日（日） 都庁大会議場にて開催を予定

2 課題別取組

平成26年度は、以下の4つの課題別部会を設置して、活動を活性化させていきます。

(1)教育支援コーディネーター部会（地域コーディネーター育成、コーディネーター・フォーラム企画）

ア コーディネーター育成企画委員会

- 教育支援コーディネーターの資質向上のため、コーディネーター・フォーラム等の企画等のプログラムの開発を検討する。

イ 教育支援コーディネーター・ミーティングの開催

- 学校支援活動の展開を担う、教育支援コーディネーターの相互研鑽及び情報交換の機会を提供する。

ウ 教育支援コーディネーター・フォーラムの開催

- コーディネーター及び企業・NPO団体の交流の機会を提供する。

平成26年12月14日（日）実施を予定

エ 地域コーディネーター養成プログラムの開発

- 学校支援ボランティア推進協議会事業と連携し、地域の実情に応じた養成研修プログラムを開発する。

(2)都立学校支援部会（都立高校における「キャリア教育」等教育支援）

ア 都立高校生への社会的・職業的自立支援教育プログラム事業の実施

- 企業や大学、NPO等会員団体と連携して開発した都立高校生向け「社会的・職業的自立」支援教育プログラムを活用して希望する都立高校に教育プログラムを導入する。

- 高校生キャリア教育プログラム「ジョブシャドウ」、青少年を対象とした職業体験『Tokyo しごと倶楽部2014』等、会員団体と連携しプログラムを提供する。

イ 都立高校生による能動的学習プログラム検討委員会

- 生徒の能動的学習を効果的な引き出す学習手法について検討を行う。

(3)区市町村支援部会（学校教育支援、学校外教育支援）

ア 学校支援ボランティア活動の活性化支援

- 学校支援ボランティア推進協議会事業の実施地区を始め、各区市町村における学校支援の取組の支援を行う。

- 学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区のコーディネーターを対象として、各地区の実情に応じた研修を実施する。

イ 学校外教育支援活動の活性化支援

- 各区市町村における放課後子供教室事業担当者を対象とした研修の機会を提供する。
- 学校外教育活動の担い手となる地域教育支援人材の養成として、放課後子供教室スタッフ研修を実施する。

(4) 地域・団体連携協働部会（外部団体活用による防災教育推進等）

ア 連携協働事例の検討

- 「今後の企業・大学・NPO 等教育支援団体との連携・協働の在り方検討委員会」の開催し、連携協働の具体的な事例や実績を収集し、検討を行う。

イ 防災教育に関する取組

- 外部団体の活用による地域と連携した防災教育を推進する。

ウ 地域や会員団体と連携した取組

- 地域や会員団体と連携した教育支援活動の推進を図る。

3 東京都生涯学習ホームページを効果的に活用した情報提供・情報交流の推進

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」サイト運営を活用し、企業・大学・NPO等の会員が取組む教育支援活動を、学校外の社会資源の効果的な活用を図るために教育支援プログラムとして学校関係者をはじめ、地域教育の関係者に紹介していきます。

また、メールを活用した会員間の情報交換を充実していきます。

4 都民や教育関係者への周知

「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」や「地域教育プラットフォーム」「都民の教育参加」について、広く都民の方や教育関係者に知っていただくために、都民向け情報誌『みんなの生涯学習（※26年度から誌名変更を予定）』（年4回発行）や、説明資料による広報活動を充実していきます。